

地域社会のために、ひたむきに。
次の100年のために、着実に。



さはら 充 恭

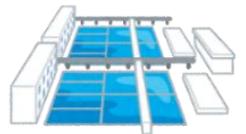
発行所 〒448-8651 刈谷市豊田町1丁目1番地トヨタ紡織労組内

1) 12月定例会報告

イラスト:いらすとや

1. 愛知県より「矢作川流域 上下水道一本化 基本方針(案)」が示されました。

水道事業は人口減等で水の使用量や料金収入が減少する一方で、**老朽化した管路の耐震化や水処理施設の更新に莫大な経費が必要**となっています。持続可能なサービス提供の為に、**広域連携による「上下水道の一本化」が有効**との愛知県の考えは一定理解しますが、**市町ごとの需要の構造や収益力は異なるため、広域化が対象全自治体にプラスの効果をもたらすかは不明**であり、一本化の**合意形成は一筋縄ではいきません**。協議の動向を注視してまいります。



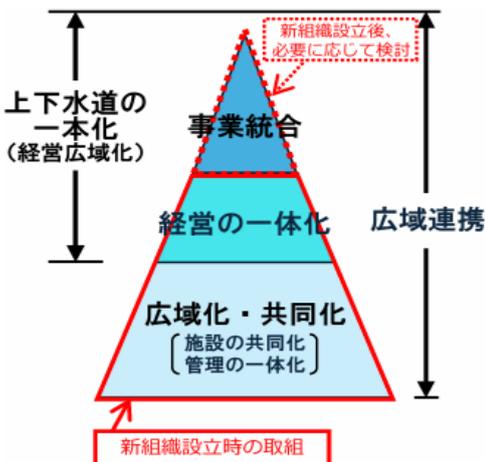
対象自治体・検討対象事業

愛知県の説明資料「矢作川流域上下水道一本化基本方針(案)の概要」より抜粋

対象自治体					
愛知県	岡崎市	碧南市	刈谷市	豊田市	安城市
西尾市	知立市	高浜市	みよし市	幸田町	
検討対象事業※					
県	水道用水供給事業の内 西三河地域 矢作川流域下水道事業				
市町	水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業 コミュニティ・プラント事業、その他汚水の集合処理事業				



※対象自治体で新組織に持ち寄る事務事業の詳細は、今後設立する協議会で検討



『用語の定義』

- 「上下水道の一本化」：県及び市町が実施している上下水道の事務事業を担う新たな組織を設立すること。事業統合及び経営の一体化の形態を指す。
- 「事業統合」：県や市町が1つの経営主体となり、認可や事業計画を1つにまとめる形態。原則として料金の統一が必要。
- 「経営の一体化」：県や市町が1つの経営主体となるが、認可や事業計画は引継ぎ、それぞれの事業は継続する形態。
- 「広域化・共同化」：県や市町の枠を超えて、施設の統合や維持管理の共同化などに取り組むこと。
- 「広域連携」：上下水道の一本化と広域化・共同化の総称。

2. 福祉産業委員会で質問・提言しました。

現役世代の健康づくり支援について質問しました。



① 食による健康づくりについて

◆**質問の主旨**: 全国の自治体でヘルシーメニューを提供する登録店を募り、「野菜たっぷり」「塩分ひかえめ」「ほどよい果物」等のメニューを提供する事業が進められている。本市の取り組み状況を確認する。



☆さはらの意見・要望

『本市にも「**かりや健康づくり協力パートナー認定制度**」があり、健康情報の提供等を行っているが、**ヘルシーメニュー提供店の登録が少ない**。登録店舗を増やすとともに、登録店に配布するのぼり旗やステッカーを、提供店である事が一目でわかるよう改善する必要がある。また、**メニュー提供の定常化**(毎月19日(食育の日)に必ず提供等)や**情報発信の強化**(健康推進課インスタの効果的な運用、若手職員のアイデア活用等)など、**食による健康づくりを更に進めてほしい**。』



② 民営トレーニングジムの活用促進について

◆**質問の主旨**: 多忙な現役世代の運動不足は大きな課題。公営ジムの利用促進に加え、**利便性の高い民営ジムと連携**し、現役世代の**運動促進と運動習慣の定着をはかる必要性**について、市の考えを確認する。



☆さはらの意見・要望

『**民営ジム**は会社帰りなどに**立ち寄りやすい小規模店舗**である、スマホで簡単に入退会ができる、24時間365日**好きな時間に行ける**、**着替えが不要**など**多様な働き方やライフスタイルに適応**している。こうした事より、初回登録料や会費の補助、健康セミナーや運動習慣定着化等の情報発信など、**民営ジムと自治体の包括的連携が各地で進んでいる**。本市も**実施してはどうか**。また、健康マイレージなど**既存の健康施策と組み合わせ**て**新たな効果を創出**する方策も検討願いたい。』



2) 活動フレイバック

11/30 重原地区防災訓練



11/30 重原文化展



12/1 新政あいち秋季セミナー



12/6 トヨタ労組衣浦支部 春取研修会



12/9 重原一斉防犯パトロール



12/14 重原八幡社秋の大祭



12/15 自動車総連 代表者のつどい



12/19 トヨタ紡織労組 春取研修会

